

みみかざり

縄文時代の耳飾

耳飾は現代のピアスと同じように耳たぶに穴をあけて使用して
いました。縄文時代早期～晩期（今から 9500～2500 年前）に至る
まで、全国の縄文遺跡からみつかっています。

- ◎ かっしやがたみみかざり滑車形耳飾：滑車のような丸い形をした耳飾です。多くは土製
ですが、骨・ろっかく鹿角（しか鹿の角）・木製もあります。直径約 1 cm～10
cm と様々なサイズがあり、特に小さいものは^{じせん}耳栓ともよびます。



御経塚遺跡出土 滑車形耳飾

耳栓

- ◎ けっじょうみみかざり玦状耳飾：平たく丸い石に一ヶ所だけ切れ目が入った耳飾で
す。縄文時代の前期（今から 6500 年前）から作られるようにな
り、北陸・北信地方が一大生産地となって全国に広がりました。
縄文時代後期（今から 4000 年前）以降は作られなくなります。

No image